MITSUBISHI
三菱電機エアコン別売部品

三相電気ヒータ(PAC-KD96・98・99EH)取付説明書

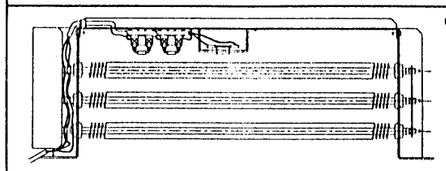
適用機種：PAC-KD96EH（室内ユニット　PDH-J40・50・56形用）
PAC-KD98EH（室内ユニット　PDH-J63・71・80・90形用）
PAC-KD99EH（室内ユニット　PDH-J112・140形用）

WT01958X01

付属部品

各別売部品には、この取付説明書以外に、右記形名のあとに記入番号の部品が入っていますのでご確認ください。

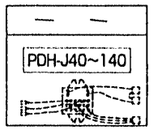
PAC-KD96EH（①, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬）
PAC-KD99EH（③, ④, ⑤, ⑥, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬）
PAC-KD98EH（②, ④, ⑤, ⑥, ⑧, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬）



①電気ヒータ（PDH-J40・50・56形用）……1台
②電気ヒータ（PDH-J63・71・80・90形用）……1台
③電気ヒータ（PDH-J112・140形用）……1台

④取付ネジ ……4本
PTTネジ4×10

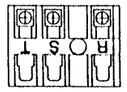
⑤取付ネジ ……3本
PTTネジ3.5×6
（内予備1本）



⑥配線セット ……1個
LY-3Fのリレーと
配線が入っています

三菱電機株式会社

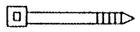
⑦標準仕様書銘板（PDH-J40・50・56用）……1枚
⑧標準仕様書銘板（PDH-J63・71・80・90用）……1枚
⑨標準仕様書銘板（PDH-J112・140用）……1枚



⑩端子台 ……1個

⑪取付ネジ ……1本
PTTネジ4×20

⑫クランプ ……1個



⑬結束バンド ……3本

電気ヒータ取付要領

●電気ヒータの取付は、室内ユニット本体の据付工事前に行なってください。
●電気ヒータの取付手順は、1～3となっています。

1 フサギイタ(電気ヒータ取付板)の取出し

1. 作業に取掛かる前に、フサギイタの取付位置を確認してください。(図1参照)
2. 室内ユニット本体よりフィルタを取外し、ネジ止めされているフサギイタを取出してください。(図2参照)
   ネジ止め位置は、サイドフレームのネジ㋐（2箇所）とソウフウキダイのネジ㋑（3箇所）で計5箇所です。

注）PDH-J112・J140形は、ドレンパンを外してからの電気ヒータ取付を推奨します。尚ドレンパンの外し方は、ネジ止めされている（ネジ㋒8箇所）ソコイタを外し、ドレンパンを傷つけないように本体から引き抜いてください。

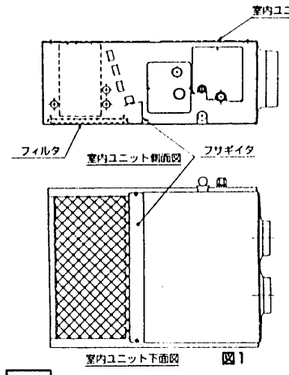


図1

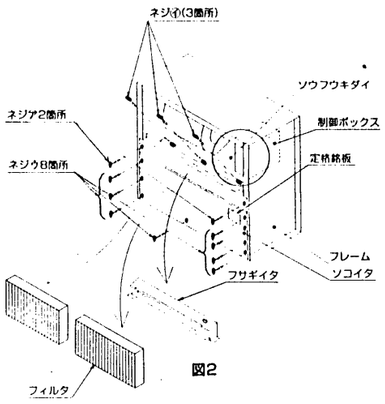


図2

2 電気ヒータ取付

1. 電気ヒータ本体にネジ止めされているカバーを、取外してください。(図3参照)
2. 1 項で取出したフサギイタに、電気ヒータ（①②③）を付属の取付ネジ④にて4箇所ネジ止めしてください。(図4参照)
   ※電気ヒータは、"ガタツキ"がないよう確実にネジ止めしてください。
3. フサギイタに取付けてあるブッシュにカッターナイフ等で切込みを入れ、ヒータのリード線を通してください。(図4参照)
4. ヒータ取付作業終了後、1. 項で取外したカバーを取付けてください。

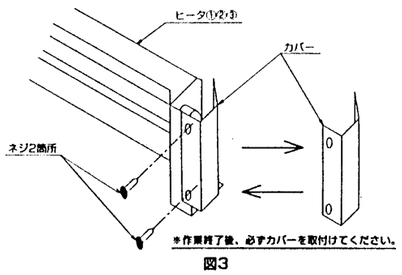


図3

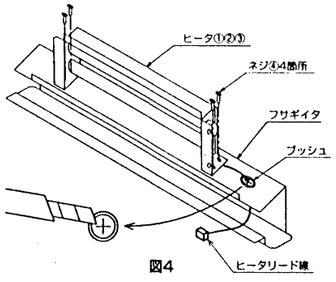


図4

3 フサギイタ(電気ヒータ付)室内ユニット本体への取付

電気ヒータの取付が完了しましたらフサギイタを 1 項とは逆の手順で室内ユニット本体に取付けてください。
尚、フィルタにつきましては、次項電気配線を実施後元通りに取付けてください。

電気配線要領

●制御ボックスのカバーに貼付けています、操作説明書の機種名と定格銘板（室内ユニット下部に貼付けています）の機種名が一致していることを確認してください。
●電気配線作業手順は、1～5となっています。

1 制御ボックスの取出し

1. 制御ボックスを室内ユニット本体から取り外してください。
   取り外し方は、※部ネジを緩め矢印の方向 a b c の手順で制御ボックスを移動させますと取り外せます。(図5参照)
   注1）制御ボックス側面にあるコネクタの取り外しは不用です。
   注2）後吸込仕様での制御ボックスの取り外し方は、後吸込ボックスの説明書を参照願います。

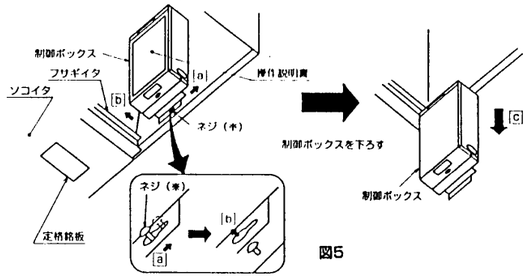
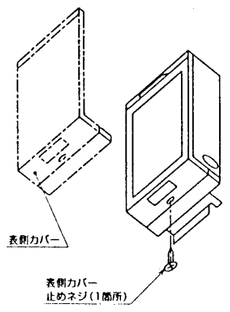


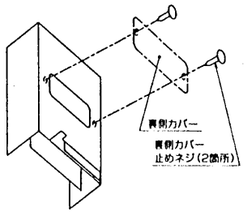
図5

2 制御ボックスカバーの取外し

1. 取り外した制御ボックスで、表と裏側にあるカバー2枚を取り外してください。(図6－a，b参照)



制御ボックス表側から見た図
図6－a



制御ボックス裏側から見た図
図6－b

3 制御ボックスノックアウト穴打抜き

1. 制御ボックス側面（図7参照）のヒータ電源配線用ノックアウト穴を打ち抜いてください。
   注1）ノックアウト穴の打ち抜きは、必ず端子台を取り付ける前に行なってください。
   注2）打ち抜かれたノックアウト穴のエッチ部は、テープ等でエッチ処理してください。
   注3）ノックアウト穴の板は、機内に残さず必ず廃却してください。

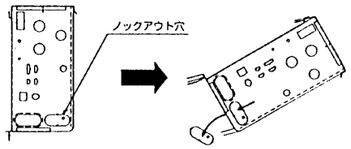


図7 制御ボックス側面図

4 端子台取付

1. 制御ボックス正面（図8参照）の室内外接続用端子台上部の端子台取付穴に端子台⑩を取付ネジ⑪でネジ止め固定してください。

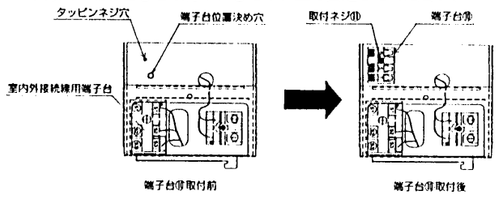


図8 端子台取付図

5 配線セットの取付

1. リレー取付
   1) 配線セット⑥に同梱されているリレーを、制御ボックス裏側より取付ネジ⑤にてネジ止め固定してください。(図9参照)
   注）図9に示すように、リレーの取付け方向にご注意ください。

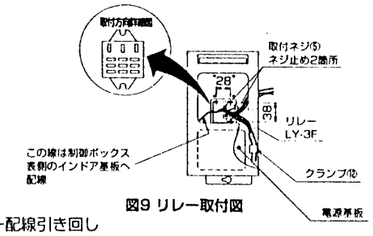


図9 リレー取付図

2. リレー配線引き回し
   1) 制御ボックス側面に貼り付けている銘板上の"CN24（別売）ヒータコネクタ取入口"と明記した箇所に、穴を明けてください。(図12－a参照)
   2) リレーから出ている配線の内、先端が白、青色のコネクタのリード線を上記1) で明けた穴より、制御ボックスの外へ取り出してください。
   3) ファストン端子が付いている赤、白、黒色のリード線は、電源基板に掛からないようにクランプ⑫にて固定し、(図10－a・b参照) 配線取出口より端子台（TB2）⑩のR，S，Tファストン端子に差し込んでください。(図11参照)

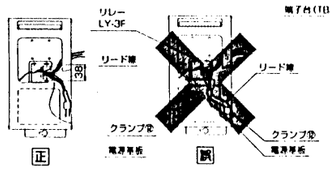


図10－a リード線クランプ図

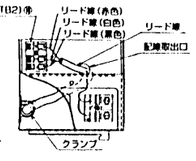


図10－b リード線クランプ図

図11 制御ボックス正面図

3. コネクタ接続
   1) リレーからの配線と電気ヒータ本体からの配線を、それぞれコネクタの色（白ー白、青ー青）に合わせて接続してください。(図12－a参照)
   2) リレーから出ている配線で黄色のコネクタは、制御ボックス表側にあるインドアキバン上のCN24へ差し込んでください。(図12－b参照)

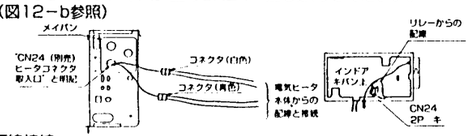


図12－a　図12－b

4. 電源線接続
   1) ヒータ用別電源配線は室内ユニット本体にある電源用貫通穴を通し、3 項で明けたノックアウト穴よりヒータ専用電源端子台（TB2）⑩に接続してください。(図13参照)

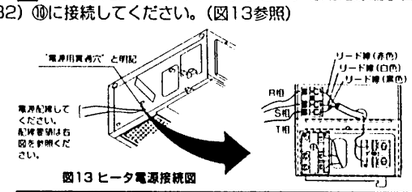
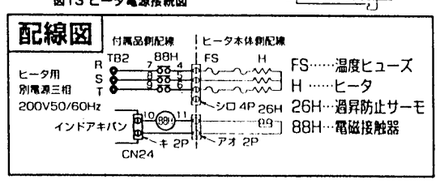


図13 ヒータ電源接続図



5. 仕上げ
   1) 配線接続が終りましたら結束バンド⑬にて配線のたるみ等がある所は結束してください。
   2) 制御ボックスのカバー（表側・裏側）を図6－a・bの示す手順とは逆の手順で取付けてください。
   3) 制御ボックスを室内ユニット本体内に、図5とは逆の手順で取付けてください。
      注）制御ボックス取付時、配線がかまないようにご注意ください。断線の原因となります。
   4) フィルタを元の位置に取付けてください。

「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA4001に基づくお願い

ヒータを組込んだ後試運転・動作確認を行ない、付属の標準仕様書銘板⑦～⑨を適合機種ユニットの定格銘板の横に貼付けてください。
注）室内ユニット本体の定格銘板は、ソコイタに貼付けてありますので、その横に貼付けてください。

ご注意： 電気ヒータ本体と保護装置の位置関係は安全上および機能上非常に重要な要素ですので、正規の位置以外への取付および保護装置部品（サーモ、ヒューズ等）の変形がないよう確実に作業願います。
尚、サーモもしくは、ヒューズ交換の際は必ず弊社サービス品を使用願います。又、電気ヒータ回路の現地改造は、安全面で大きな疎外要因となりますので絶対に行わないでください。